

厚生労働省のベンチャー支援施策について

政策キーパーソンと語ろう！リアルネットワーキング編

vol.9 「新春・予算特集」

厚生労働省 医政局

医薬産業振興・医療情報企画課

医薬品産業・ベンチャー等支援政策室長

藤井 大資

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

創薬基盤強化支援事業

令和8年度当初予算案 8.7億円 (9.3億円) ※()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

政府一丸となりスタートアップを産み育てるために策定した「スタートアップ育成5カ年計画」等に基づき、厚生労働省においては、国民の健康の維持・向上、世界の医療水準の向上を担う医療系ベンチャーの振興政策を大胆に展開していく必要がある。我が国の医療系ベンチャーを取り巻くエコシステム構築とともに、成功事例の創出を加速させるため、開発早期から製薬企業・VCの視点を取り入れる開発促進支援のほか、海外エコシステムとの接続強化のための広報活動、支援機関のHub化等、ベンチャー支援施策の強化・拡充を図る。このため、「医療系ベンチャー・トータルサポート事業（MEDISO）」の強化・拡充を図るとともに、令和7年度から3年にわたる国庫債務負担行為を要求して、途切れのない支援を実施する。また、創薬エコシステムの実現に向けた政策を国内外に示すことが必要であり、外資系の製薬企業・VCもメンバーとする官民協議会を設置する。

2 事業概要・スキーム

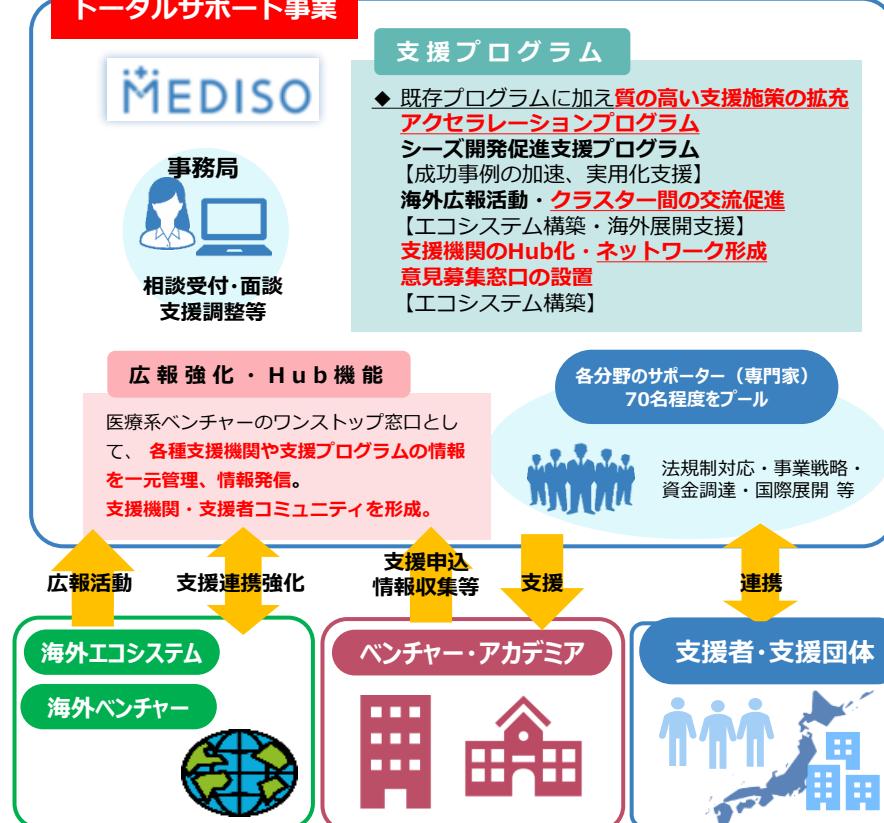
トータルサポート事業

- アカデミアによる基礎研究以降、VCから資金調達するまでの死の谷を越えるため、製薬企業やVCとの意見交換を通じて開発プロセスの最適化を図るとともに、**海外人材も含むアクセラレーターによる支援を提供する。**
- 海外エコシステムとの接続強化のため、**海外でのイベント開催、海外VCとのマッチングや、創薬人材のネットワークを有する者が国内外クラスターを巡回訪問しクラスター間の連携・交流を促進する**とともに、日本の薬価・薬事規制等について海外広報活動を実施する。
- 医療系ベンチャー振興施策の中心となっているMEDISO事業を「医療系ベンチャー支援機関のHub」として機能することを目指すとともに、**ネットワーク形成のために月例交流会を実施する。**
- アカデミア・ベンチャーから、薬事・保険・研究開発・ベンチャー振興等に関する意見を受け付けるとともに、具体的な解決策を検討するためのWGを開催。

官民協議会の開催

- 創薬エコシステム育成施策の方針や進捗状況について、**外資系企業のニーズも踏まえて**議論を行う。

トータルサポート事業



官民協議会の開催

官民協議会

官民協議会の議論に基づく創薬エコシステム育成施策の実現施策の継続により、外資系企業・外国資金等を呼び込み、海外の実用化ノウハウを有するアクセラレーター人材を確保し、育成する。

3 実施主体等

- 実施主体:委託事業（民間企業等）

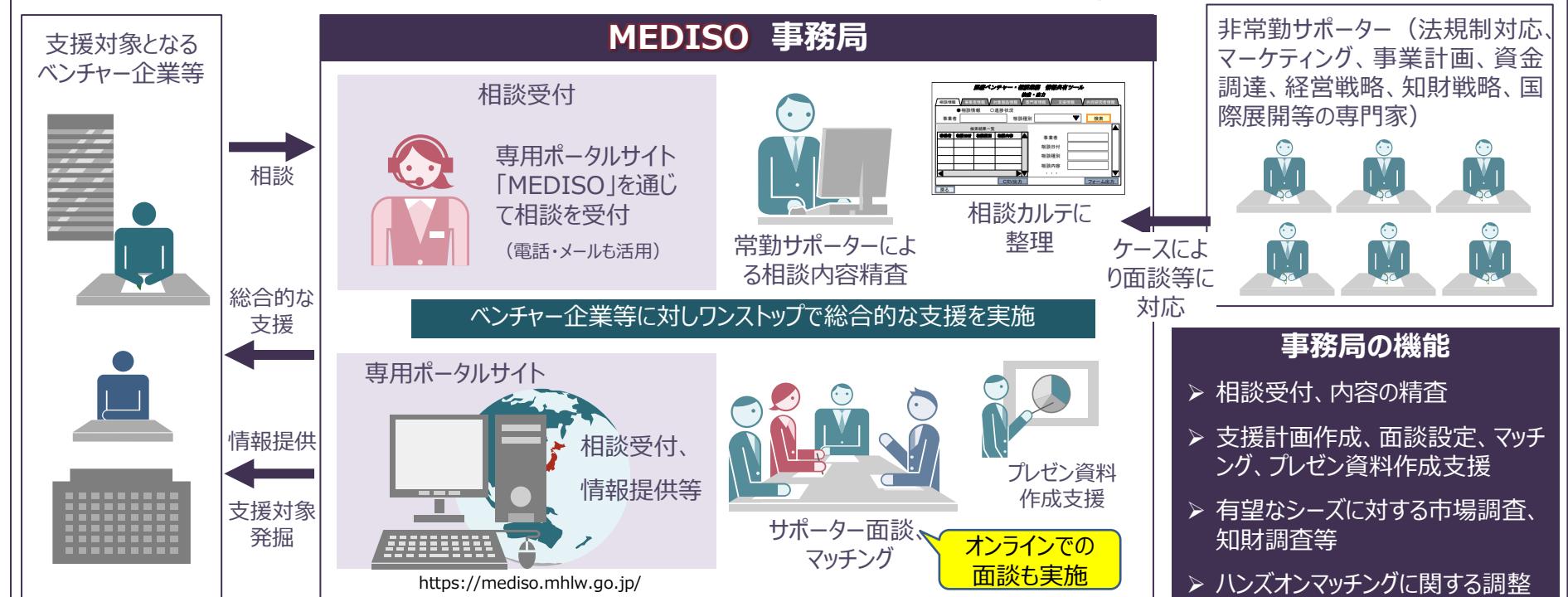
4 事業実績

<MEDISO相談支援実施件数>
○2024年度：299件

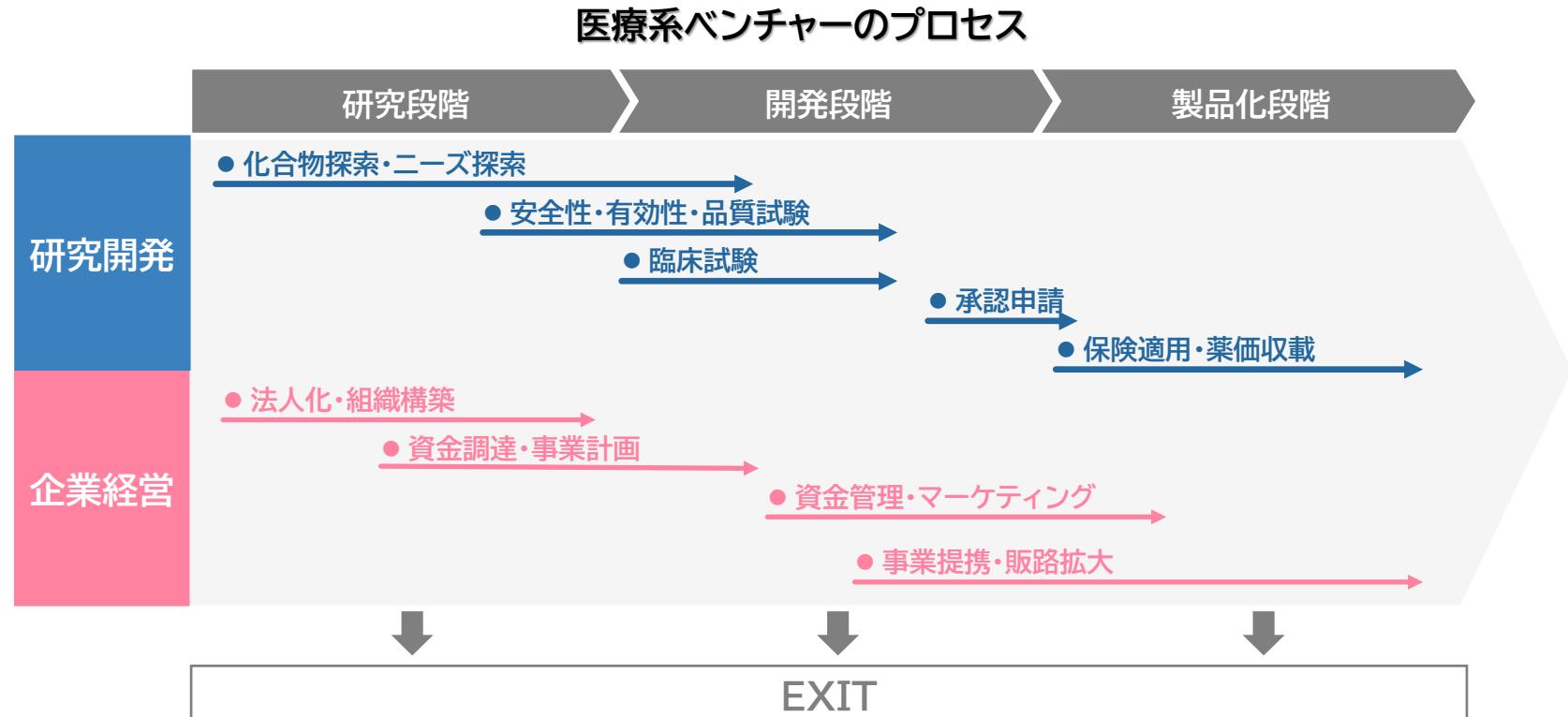
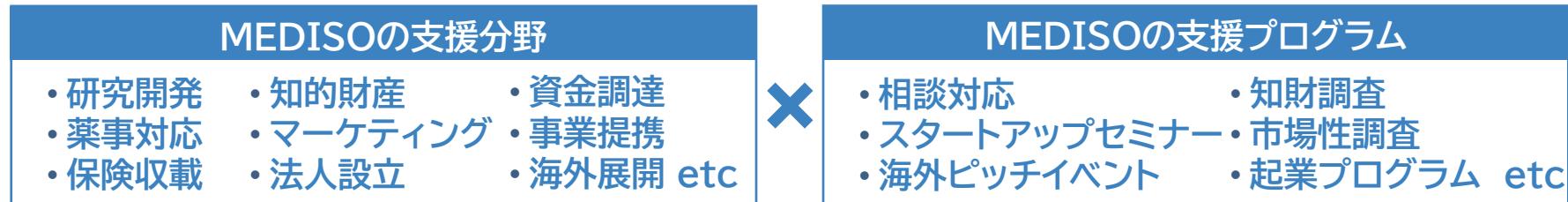
医療系ベンチャー・トータルサポート事業（MEDISO）

- ◆ **MEDISO (MEDical Innovation Support Office)** とは、医薬品・医療機器等について、アカデミアやベンチャー企業が有するシーズを実用化につなげるために、研究開発から上市に至るまでの各段階で生じた課題等に総合的な支援を行うための事業。
- ◆ 医療系ベンチャー企業等にアドバイスを行うメンターとなる人材（以下、サポートーと称する）と各ベンチャー企業のニーズに応じたマッチングの推進には、ベンチャー育成のためのエコシステムの確立に向けて大変重要であり、**MEDISO**では、多様な分野の専門家を「サポートー」として登録している。
- ◆ 相談案件は常勤サポートーが精査し、より専門性が高い相談については非常勤サポートーとの面談設定やマッチングを行い、支援計画作成、VC等へのプレゼン資料作成支援等、多様な相談に対してワンストップで支援を実施。
- ◆ さらに、有望なシーズに対しては、知財調査や市場性調査（フィージビリティスタディ）、大企業やアカデミアの人材をベンチャーに派遣するハンズオンマッチング等により、シーズの実用化を見据えた総合的な支援を実施。

MEDISO事務局における相談対応・総合的支援の概要



医療系ベンチャーの様々な課題に応じた、様々な支援を提供



MEDISOで実施している支援プログラム



企業相談

医療系ベンチャー企業やアカデミアの持つ課題を
知見ある専門家により解決



出前相談会

全国各地で出張相談会を開催し
現地で対面の相談機会を提供



シーズ宝箱

医療系ベンチャー企業・アカデミアと、
医療系企業やVC等投資家のマッチング機会提供



ベンチャー企業・アカデミア向けセミナー

ベンチャー企業・アカデミアに対し
専門家によるセミナーを提供



人材交流

医療系ベンチャー企業に対し、適切な人材を
マッチングさせ、ハンズオン支援



知財戦略策定支援

有望なシーズに対し、実用化を図るための
総合的な調査・支援を実施



ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット

ベンチャー企業と、大企業や支援機関の
マッチング機会創出のため展示会を開催



起業プログラム

起業を志す方たちに対する、
起業支援プログラム



ベンチャー支援ガイドブック

ベンチャー企業の課題解決の一助となるよう
ガイドブックを提供



VC向け研修会

VCを対象とした
セミナーの開催



海外展開支援

欧米への海外展開を目指す
医療系ベンチャー・アカデミアを支援



各種調査・とりまとめ

日本のベンチャー企業やその支援機関に関する
各種調査を実施、現状を把握

MEDISOが提供するアクセラレーションプログラム

MEDISOでは、医薬品、医療機器、再生医療等製品のシーズ実用化を促進するため、様々なアクセラレーションプログラムによる支援も実施。

令和7年度のアクセラレーションプログラム一覧

分野	プログラム名	概要
<p>医薬品</p> <p>再生医療等製品</p> <p>医療機器</p>	Seeds Booster Medical Seeds Discover and Boost Program	基礎研究から治療標的の特定までを完了し、応用研究から実用化や起業を目指すシーズを有するアカデミア所属の研究者を主な対象とし、シーズ実用化に向けて、 <u>TPPの作成・精緻化、開発計画や事業計画の策定等を支援するプログラム</u>
<p>医薬品</p> <p>再生医療等製品</p> <p>医療機器</p>	MedTech BOOT Medical Device Acceleration Program	医療機器、SaMDの開発に取り組むベンチャー企業、起業を予定するアカデミアに所属する研究者を主な対象とし、 <u>医療機器ベンチャー企業が海外進出するために必要な知識・経験・実践力を養成するプログラム</u>
<p>医薬品</p> <p>再生医療等製品</p> <p>医療機器</p>	Direct Flight Medical Startups Global Acceleration Program	医薬品、医療機器、再生医療等製品の開発に取り組んでおり、海外展開を目指しているベンチャー企業を主な対象とし、 <u>海外展開に必要な知識・経験・実践力の習得及び海外エコシステム(ボストン/フィラデルフィア/サンディエゴ/UKの4地域)とのネットワーク構築を支援するプログラム</u>
<p>医薬品</p> <p>再生医療等製品</p> <p>医療機器</p>	Deal Launchpad Deal Making Workout Program	国内外の製薬企業等との共同研究・ライセンス・資金調達等を視野に入れた、非臨床～臨床試験段階にある創薬・医療系ベンチャーを対象とし、 <u>ディールを成功させるために必要な知識・経験・実践力の習得を支援するプログラム</u>
<p>医薬品</p> <p>再生医療等製品</p> <p>医療機器</p>	BioNavigator MEDISO Drug Discovery Acceleration Program	医薬品・再生医療等製品のシーズを有するアカデミア・ベンチャーに対して、長期間にわたって多方面からの長期支援を集中的に行うことで研究開発の最適化を図り、 <u>FIH試験実施に向けての研究開発を加速させることを目指すプログラム</u>

海外VC訪日マッチングイベント（ビジットプログラム）

海外VCが参加する、日本のアカデミア・医療系スタートアップとのビジネスマッチングに向けたイベント（ビジットプログラム）を国内で開催予定（3月24～26日）。

NIKKEI創薬エコシステムサミット

厚労省、海外ベンチャーキャピタル呼び込み ヘビジットプログラムを計画中

前厚生労働大臣政務官の塩崎彰久衆議院議員が登壇

④ 1pt ⑤ 4分

2025.06.26 久保田文

前厚生労働大臣政務官の塩崎彰久衆議院議員は、2025年6月25日、NIKKEI創薬エコシステムサミット（主催：日本経済新聞社、会期：2025年6月24日～25日）の特別講演に登壇。2024年6月、厚生労働省のヘルスケアスタートアップ等の振興・支援策検討プロジェクトチーム（ヘルスタPT）がとりまとめた「ヘルスケアスタートアップの振興・支援に関するホワイトペーパー」の進捗状況について説明し、2026年3月までに、海外のベンチャーキャピタル（VC）を呼び込む、ビジットプログラムを実施することを明らかにした。厚労省が実施するとみられる。



日本の創薬力

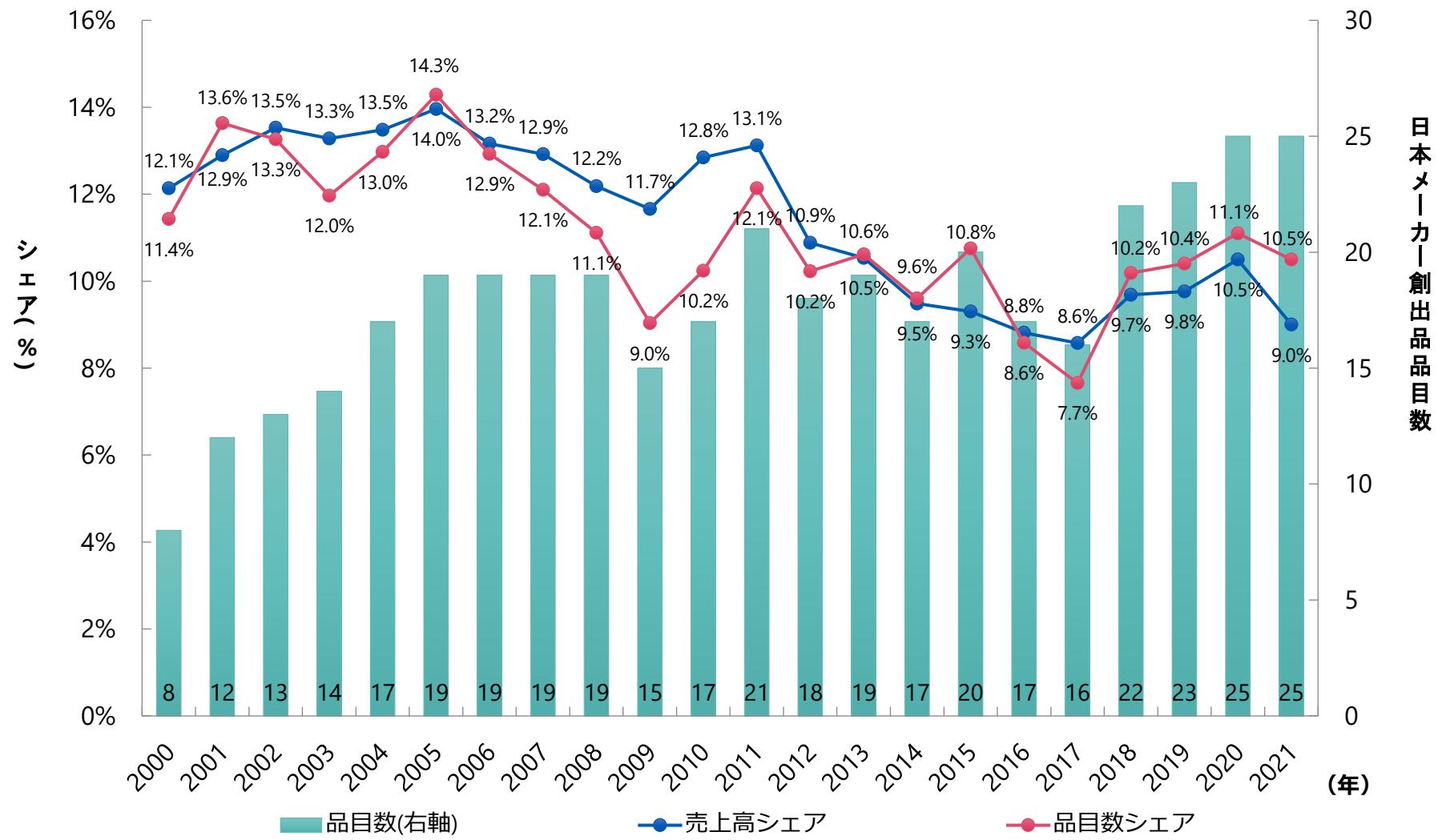
日本は数少ない創薬国の1つであり、数多くのブロックバスター品を生み出している。

世界売上上位100品目のうち日本発もしくは日本企業と提携して生まれている品目（2024年）

2024年順位	製品名	売上げ（百万ドル）	企業
12	オプジーボ	10141	小野/BMS
17	イクスタンジ	7946	アステラス/ファイザー
26	エンタイビオ	5821	武田
32	ヘムライブラ	5115	中外/ロシュ
34	ハイキュービア	4858	武田
37	プラリア	4653	アムジェン/第一三共
41	エンハーツ	4355	第一三共
60	アクテムラ	3005	中外/ロシュ
63	ドウベイト	2861	GSK/塩野義
65	ビバンセ	2630	武田
68	パドセブ	2558	アステラス/ファイザー
70	レキサルティ	2522	大塚
73	ランマーク	2359	アムジェン/第一三共
79	リクシアナ	2208	第一三共
83	レンビマ	2132	エーザイ/メルク
86	エビリファイメンテナ	2081	大塚
87	タフィンラー+メキニスト	2058	ノバルティス
90	アドセトリス	1914	ファイザー/武田
91	ウプトロビ	1913	J&J/日本新薬
94	サムスカ	1860	大塚
100	ゲンボイヤ	1762	ギリアド・サイエンシズ/JT

出典：
日経バイオテク（改定）

日本メーカー創出品の世界医療用医薬品市場シェア



注1:年間売上7億ドル以上の品目を対象に集計

注2:日本メーカー創出品の定義は出所元による

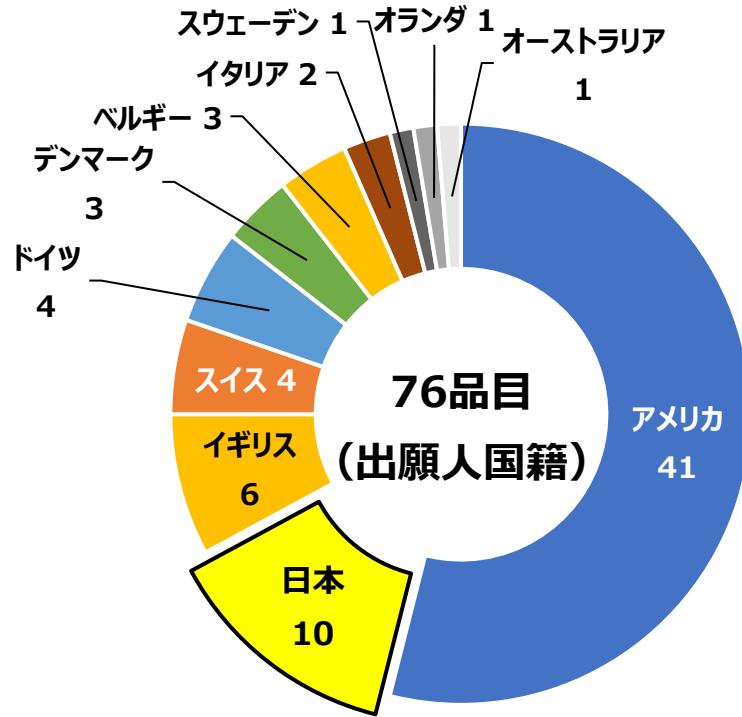
出所:研ファーマ・ブレーン発行「NEW Pharma Future」(医薬経済社)をもとに医薬産業政策研究所にて作成。医薬産業政策研究所HP 産業調査データベース(会員限定)

世界の売上高上位製品に占める新興企業のシェアについて

特にアメリカにおいてはアカデミアやベンチャーによる医薬品開発が多くなっているが、日本では、それらの医薬品開発が少ない。

世界売上高上位に近年ランクインした製品の創出企業分類
- 2014～2020年新規ランクイン76品目 -

国別起源比較



注1：対象は2014～2020年の期間中、世界売上高上位100品目に新たにランクインした76品目

注2：特許帰属企業の国籍による分類（出願人国籍）

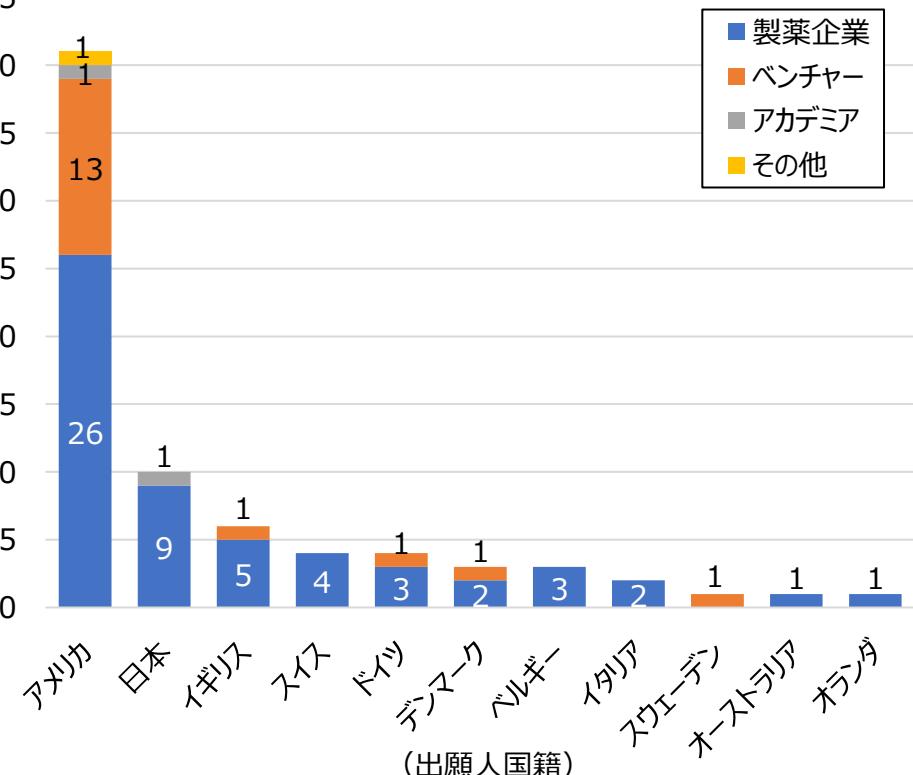
注3：出願人として複数の企業・機関が記されている場合、国籍別に均等割している

注4：「ベンチャー」とは、EvaluatePharmaにおいて“Biotechnology”企業に分類される企業のうち、特許優先日の年度売上高が5億米ドル未満かつ企業設立年が特許優先日から20年末満の企業

出所：Copyright©2022 IQVIA. IQVIA World Review Analyst, Data Period 2014から2020, IQVIA Pipeline & New Product Intelligence, EvaluatePharma, Clarivate Cortellis Competitive Intelligence, SPEEDA(株式会社ユーザベース)をもとに医薬産業政策研究所にて作成（無断転載禁止）

出典：医薬産業政策研究所 政策研ニュースNo.64 (2021年11月)

(品目数) 起源国別の創出企業比較



施策名:革新的医薬品等実用化支援基金事業

① 施策の目的

- ・日本では、創薬スタートアップへの支援が手薄であり、他国と比べてもその分野が弱く、上市に至りにくい状況が生じている。
- ・こうした状況を踏まえ、官民連携して継続的に創薬スタートアップから革新的新薬を生み出す創薬基盤・インフラの強化を早急に目指すもの。

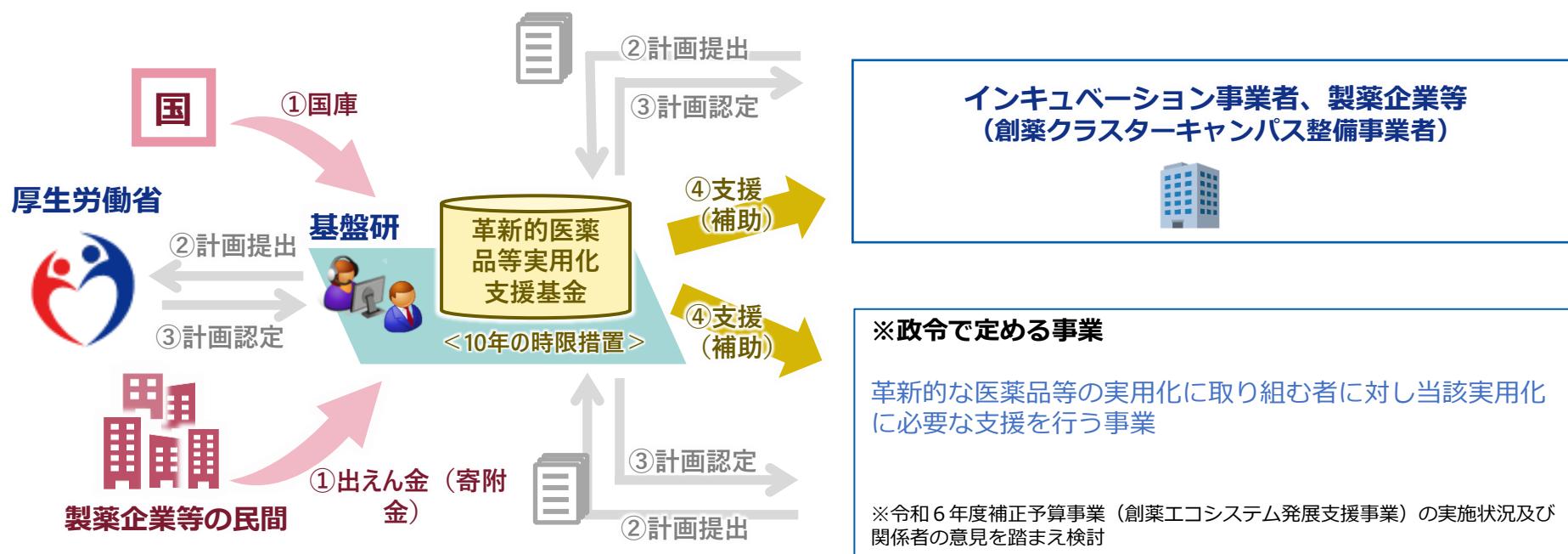
② 対策の柱との関係

I			II			III			
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
			○						

③ 施策の概要

国庫と民間からの出えん金(寄附金)で「革新的医薬品等実用化支援基金」を造成する。当該基金では、創薬クラスター・キャンパス整備事業者の取組や、政令で定める事業を支援し、より活発な創薬が行われる環境を整備する。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

日本発の革新的な医薬品の実用化が進むことで、我が国の創薬力の向上につながるとともに、ドラッグラグ・ロス問題の解消に寄与する。